

地域別検討協議会学区別検討資料(オホーツク中学区)

オホーツク中学区高校配置計画の見込み

区分	R 6 (2024)	R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)	R 10 (2028)	R 11 (2029)	R 12 (2030)	R 13 (2031)	令和7～13 (2025～2031) 年までの 増減	令和10～13 (2028～2031) 年までの 増減	
学区内中卒者数	1,186	1,107	1,184	1,077	1,126	1,064	942	989	▲ 197	▲ 88	
対前年増減	+ 36	▲ 79	+ 77	▲ 107	+ 49	▲ 62	▲ 122	+ 47			
北見市中卒者数	(923)	(840)	(906)	(827)	(858)	(832)	(742)	(800)	▲ 123	▲ 27	
対前年増減	+ 10	▲ 83	+ 66	▲ 79	+ 31	▲ 26	▲ 90	+ 58			
学校名	令和6(2024)年度の 学科及び募集学級数			R6 (2024) 欠員	令和7(2025) 年度	令和8(2026) 年度	令和9(2027) 年度の見通し	令和10(2028)～13(2031)年度までの見通し		摘要	
	普通	職業	計								
北見北斗	6		6	14			4年間で公私比率動 案後1～2学 級に相当する中卒者 の減	4年間で公私比率動 案後1～2学 級に相当する中卒者 の減		常呂の協力校	
単 北見柏陽	5		5	0						佐呂間の協力校	
単 北見緑陵	3		3	0							
北見工業		工 3	3	59							
北見商業		商 3	3	9							
置 戸		福 1	1	31							再編整備留保
地 佐呂間	1		1	15							
地 常 呂	1		1	30							再編整備留保
訓子府	1		1	3							
地 津 別	1		1	15							
美 幌	2	農 1	3	47							津別の協力校
11校	20	8	28	223							

注1 学科種別の「普通」には、普通科のほか、総合学科、理数、外国語、体育等の専門学科を含む。

注2 学校名の「単」は単位制、「総」は総合学科、「フ」はフィールド制、「中高」は連携型中高一貫教育校、「地」は地域連携校。

学区の検討事項と現状・課題

学区の検討事項	現状・課題
○中卒者数の増減に対応しながら、多様な学習ニーズに応える高校配置の在り方	<ul style="list-style-type: none"> 令和9(2027)年度の定員調整等の検討に当たっては、107人の中卒者数の減のほか、市町ごとの中卒者数の状況なども考慮するとともに、北見市内及び周辺町における圏域での協議を踏まえた配置の在り方の検討が必要 令和10(2028)年以降については、令和13(2031)年までに学区全体で88人の中卒者数の減が見込まれること、特に令和12(2030)年に122人(北見市で90人)の大幅な減が見込まれることや、これまでの定員調整の状況や学校・学科の配置状況などを考慮し、北見市内及び周辺町における圏域での学校・学科の在り方など、再編整備を含めた配置の在り方の検討が必要 欠員が40人以上生じている学校について、定員を含む学科構成の在り方について検討が必要
○地域の取組を勘案した特取的取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 再編整備留保校について、集中取組期間を設け、道教委が所在市町村をはじめとした地域と連携し、高校の特色化・魅力化を進め、入学者確保に取り組むことが必要 再編整備を留保されている場合であっても、5月1日現在の第1学年の在籍者数が2年連続して10人未満となった場合は、再編整備を進めることとしているため、本年度10人未満となっている高校については、生徒数の確保に向け、一層魅力ある高校づくりが必要